

NY マーケットレポート (2016年8月18日)

NY 市場では、序盤に発表された新規失業保険申請件数が予想より改善したことや、フィラデルフィア連銀景況指数が2ヵ月ぶりにプラスに改善したことを好感して、序盤はドルが堅調な動きとなった。しかし、前日のFOMC議事録を受けて、早期に追加利上げに踏み切るのには難しいとの見方が広がっていることが引き続き圧迫要因となり、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、株価が上値の重い動きとなったことや、米国債券利回りが低下したことから円が買われる動きとなり、クロス円もやや軟調な動きとなった。

2016年8月18日 (木)

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	99.97	100.50	99.86
EUR/JPY	113.49	113.67	113.19
GBP/JPY	131.66	132.17	131.23
AUD/JPY	76.85	77.06	76.69
NZD/JPY	72.85	73.08	72.77
EUR/USD	1.1355	1.1367	1.1306
AUD/USD	0.7688	0.7696	0.7661

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18597.70	+23.76
S&P500	2187.02	+4.80
NASDAQ	5240.14	+11.49
日経225 (CME)	16535	-125
トロント総合	14695.68	-1.92
ボルサ指数	48437.10	+178.17
ボベスパ指数	59166.02	-157.81

8/19 経済指標スケジュール

12:00	【ニュージーランド】7月クレジットカード支出
13:30	【日本】6月全産業活動指数
14:30	【日本】7月東京地区百貨店売上高
15:00	【ドイツ】7月生産者物価指数
16:30	【スウェーデン】2Q設備稼働率
17:30	【英国】7月公共部門純借入所要額
17:30	【英国】7月公共部門純借入額
21:30	【カナダ】7月消費者物価指数
21:30	【カナダ】6月小売売上高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1357.20	+8.40
NY 原油	48.22	+1.43
CMEコーン	342.00	+2.25
CBOT 大豆	1014.50	-1.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.71%	0.73%
3年債	0.82%	0.86%
5年債	1.11%	1.14%
7年債	1.37%	1.40%
10年債	1.54%	1.55%
30年債	2.26%	2.27%

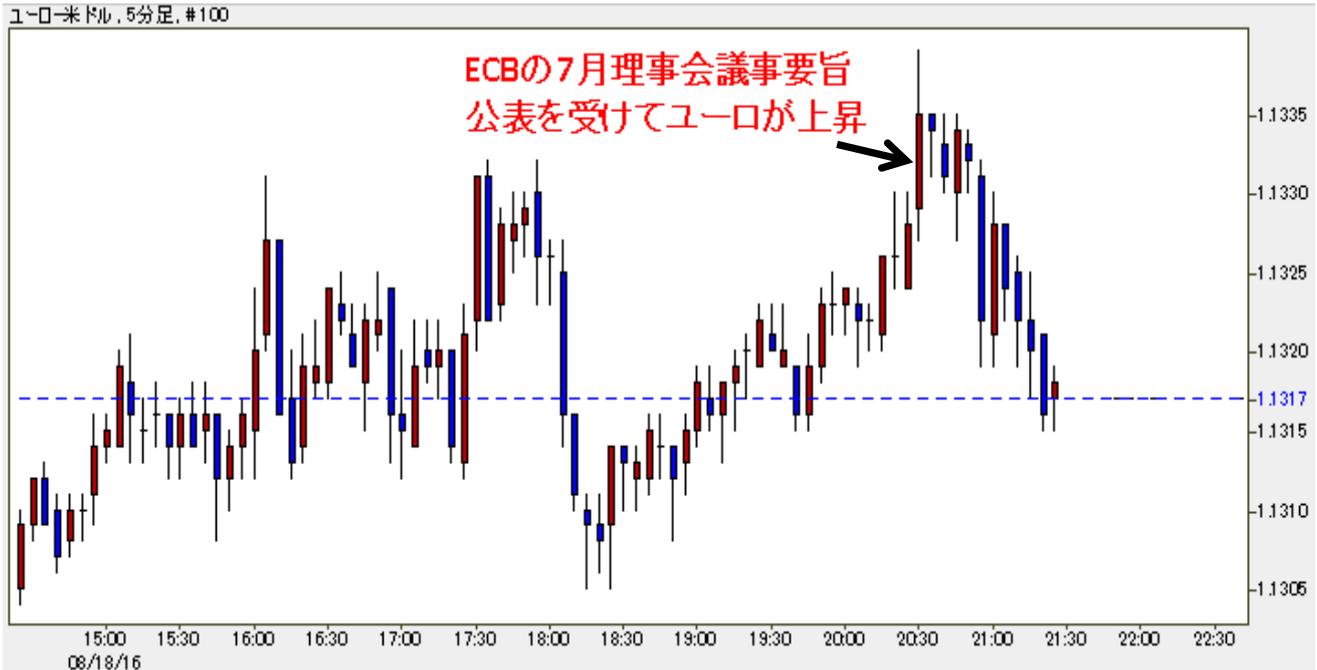
8/19 主要会議・講演・その他予定

出所：SBILM

NY 市場レポート

ECB (欧州中央銀行) は、7月20-21日の理事会議事要旨を公表。

英国のEU離脱決定について、ユーロ圏経済への影響を見極めるべきだとして、具体的な金融政策の対応協議を見送っていたことが明らかとなった。そして、「景気の下振れリスクは明らかに増大した」と分析し、「現段階では、金融政策による対応を議論するのは時期尚早」との認識で一致し、今後数ヶ月の経済データを評価する時間が必要だとした。



◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 26.2 万件 (予想 26.5 万件・前回 26.6 万件)

失業保険継続受給者数 217.5 万人 (予想 214.1 万人・前回 216.0 万人)
 前回発表の 215.5 万人から 216.0 万人に修正

経済指標データ

◀ 新規失業保険申請件数・継続受給者数 ▶

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/08/06	262,000	-4,000	265,250	*****	*****
16/08/06	266,000	-1,000	262,750	2,175,000	1.6%
16/07/30	267,000	+1,000	259,750	2,160,000	1.6%
16/07/23	266,000	+14,000	256,500	2,141,000	1.6%
16/07/16	252,000	-2,000	257,500	2,144,000	1.6%
16/07/09	254,000	0	259,000	2,132,000	1.5%
16/07/02	254,000	-16,000	264,750	2,153,000	1.6%
16/06/25	270,000	+12,000	267,250	2,117,000	1.5%
16/06/18	258,000	-19,000	266,750	2,168,000	1.6%
16/06/11	277,000	+13,000	269,250	2,139,000	1.6%
16/06/04	264,000	-4,000	269,500	2,162,000	1.6%
16/05/28	268,000	0	277,000	2,112,000	1.5%
16/05/21	268,000	-10,000	278,500	2,172,000	1.6%
16/05/14	278,000	-16,000	275,750	2,160,000	1.6%
16/05/07	294,000	+20,000	268,250	2,153,000	1.6%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比-0.4 万件の 26.2 万件と 2 週連続のマイナスとなり、7 月 2 日までの週以来の大きな減少幅となった。また、節目となる 30 万件を 76 週連続で下回った。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+2500 件の 26 万 5250 件。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+1.5 万人の 217.5 万人と 2 週連続で増加し、4 月 2 日までの週以来の高水準となった。受給者数の 4 週移動平均は、前週比+10750 人の 215.5 万人。受給者比率は、前週比横ばいの 1.6%だった。

◀ 経済指標の結果 ▶

8月フィラデルフィア連銀景況指数 2.0 (予想 2.0・前回 -2.9)

経済指標データ

◀フィラデルフィア連銀指数▶

	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月
景況指数	2.0	-2.9	4.7	-1.8	-1.6	12.4	-2.8
仕入価格	19.7	9.9	23.0	15.7	13.2	-0.9	-2.2
販売価格	7.1	0.3	3.9	14.8	7.4	3.5	-4.5
新規受注	-7.2	11.8	-3.0	-1.9	0.0	15.7	-5.3
出荷	8.4	6.3	-2.1	-0.5	-10.8	22.1	2.5
受注残	-15.0	1.9	-12.6	-8.8	-6.3	-1.9	-12.7
入荷遅滞	-3.8	1.3	-8.3	-14.6	-9.9	0.3	-16.1
在庫水準	-9.2	-4.3	-9.9	-2.5	-20.5	-12.7	-17.1
雇用者数	-20.0	-1.6	-10.9	-3.3	-18.5	-1.1	-5.0

6ヵ月先予想

	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月
景況指数	45.8	33.7	29.8	36.1	42.2	28.8	17.3
仕入価格	29.1	26.4	37.8	24.8	36.7	24.7	11.9
販売価格	13.9	24.1	16.5	10.5	22.6	15.1	2.1
新規受注	44.9	29.2	29.9	39.9	48.7	38.8	19.8
出荷	51.0	27.2	32.2	37.9	41.0	34.2	20.2
受注残	3.2	12.1	-0.6	14.5	15.8	12.4	-2.6
入荷遅滞	-2.2	0.5	2.4	-2.2	0.5	-3.7	-10.3
在庫水準	-7.3	0.3	-3.1	-12.0	-3.9	-14.0	-8.9
雇用者数	12.9	12.8	11.2	12.0	14.2	6.3	2.3

8月の米フィラデルフィア連銀景況指数は+2.0となり、予想と一致した。出荷が好調だったことで、前月の-2.9から改善したが、雇用や新規受注が軟調だったことから、依然として楽観できない状況が指摘されている。従業員数指数は-20.0と前月の-1.6から悪化し、2009年7月以来の低水準、新規受注指数は-7.2と+11.8から悪化し、昨年12月以来の低水準となった。支払価格指数は+19.7と+9.9から上昇、設備投資の6ヵ月予測は+19.2と+15.1から上昇、業況の6ヵ月予測は+45.8と+33.7から上昇し、2015年1月以来の高水準をつけた。

◀ 経済指標の結果 ▶

7月米景気先行指標総合指数 (前月比) 0.4% (予想 0.3%・前回 0.3%)

指標結果データ

◀米景気先行指数▶

	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
先行指数	0.4	0.3	-0.2	0.5	0.0	0.0	-0.2
一致指数	0.4	0.3	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2
遅延指数	0.1	-0.1	0.4	0.2	0.7	0.4	0.2

◀ 要人発言 ▶

ダドリー・NY連銀総裁

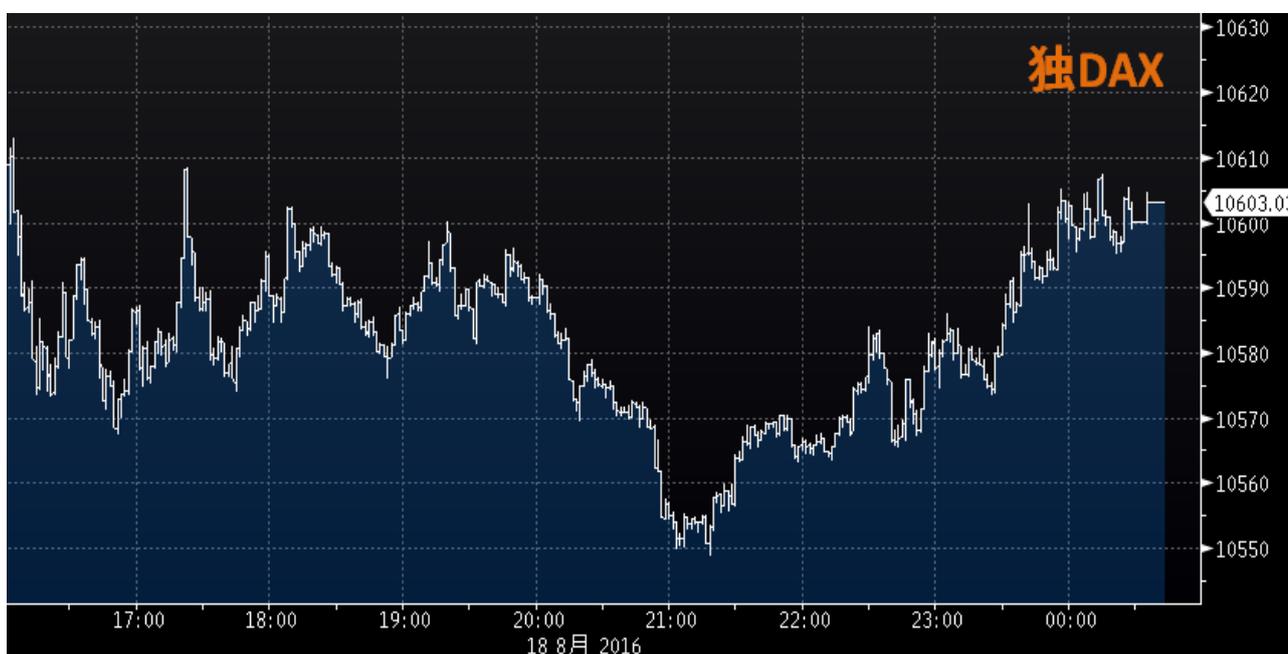
- ・「労働市場の状況は引き続き改善」
- ・「強い雇用指標は景気減速懸念を緩和」
- ・「雇用拡大は引き続き非常に力強い」
- ・「下期と第3四半期GDPは、上期より格段に強い伸びに」
- ・「下半期の成長率は2%以上に」

《欧州のポイント》

- ① 第2・四半期のフランスの国際労働機関基準失業率は9.6%と、2012年9月以来の低水準となった。今年第1・四半期は9.9%だった。オランダ大統領は、今年の失業率が継続して低下しなければ、2017年の大統領選に出馬しないと表明していた。
- ② 7月の英小売売上高指数は、前年比+5.9%と昨年9月以来の大幅な伸びとなった。気温が比較的高かったことから衣料品の販売が好調だったほか、通貨ボンドの下落により、観光客などによる時計や宝飾品などの高額品購入が好調だった。前月比では+1.4%となった。

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、原油価格が上昇したことや、前日までの下落で値頃感が出た銘柄を買う動きも見られ、主要株価は堅調な動きとなった。



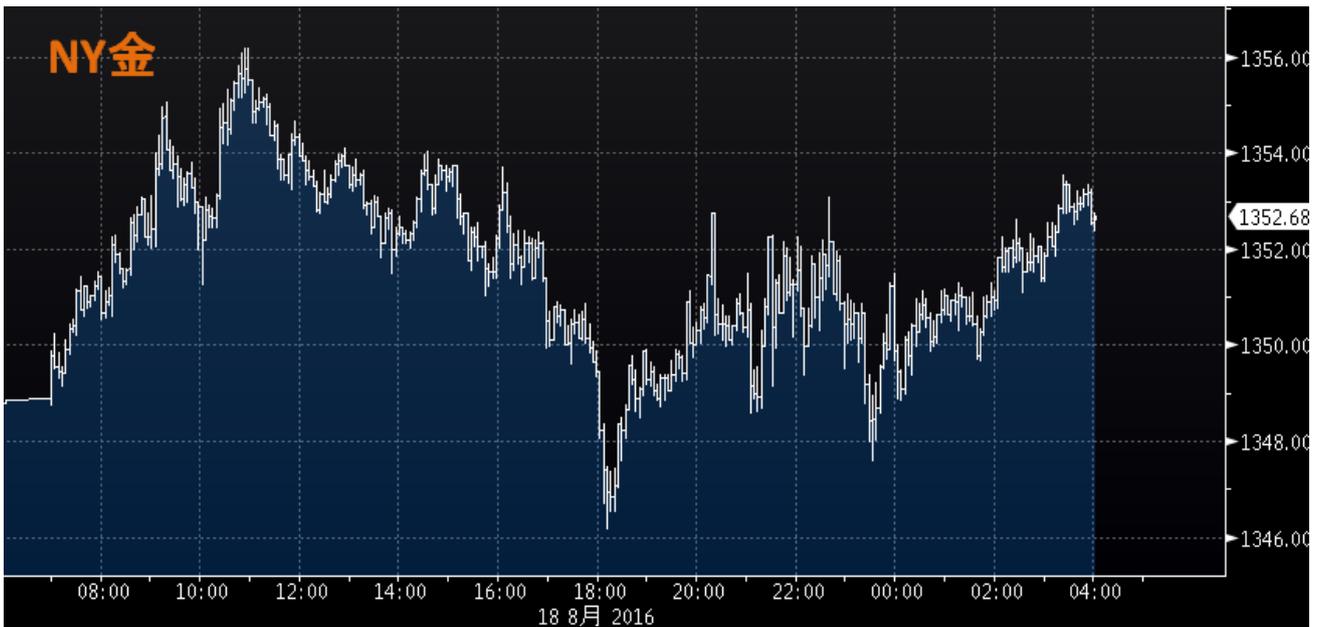
出所：Bloomberg

《米5年物TIPS入札》

最高落札利回り・・・-0.209%（前回 -0.195%）
 最低落札利回り・・・-0.310%（前回 -0.425%）
 最高利回り落札比率・・・96.30%（前回 53.48%）
 応札倍率・・・2.37倍（前回 2.42倍）
 発行額・・・140億ドル（前回 160億ドル）

《NY金市場》

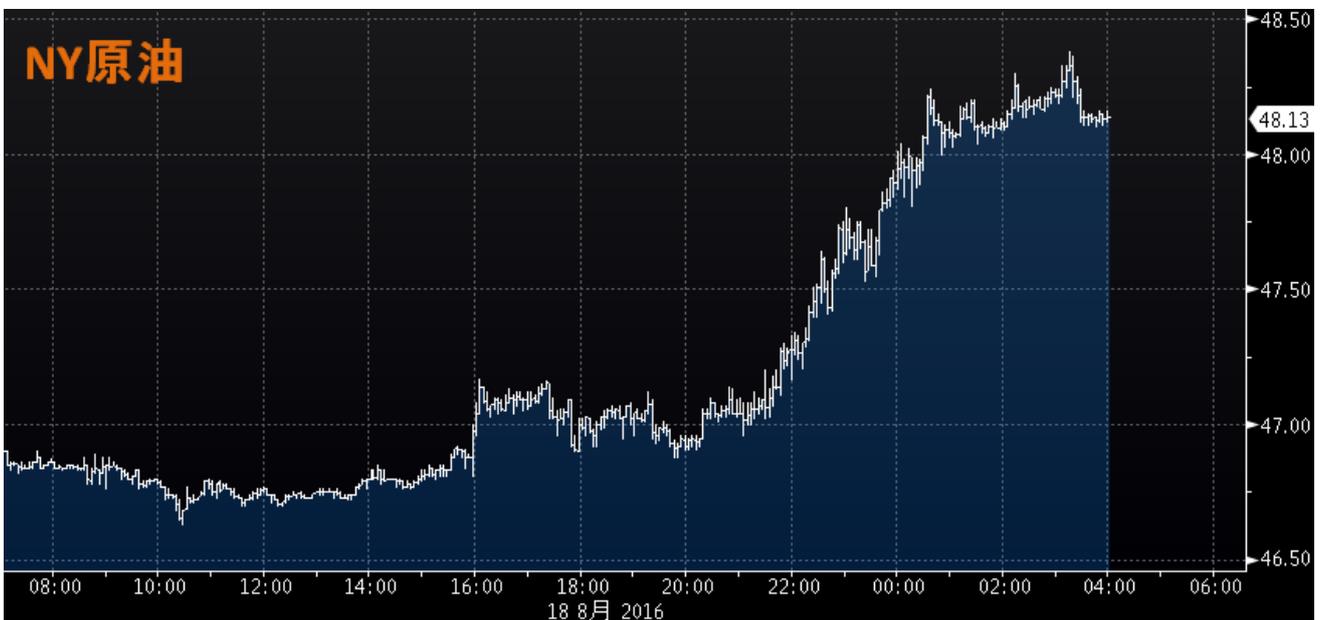
NY金は、米国の早期利上げ観測が後退し、ドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

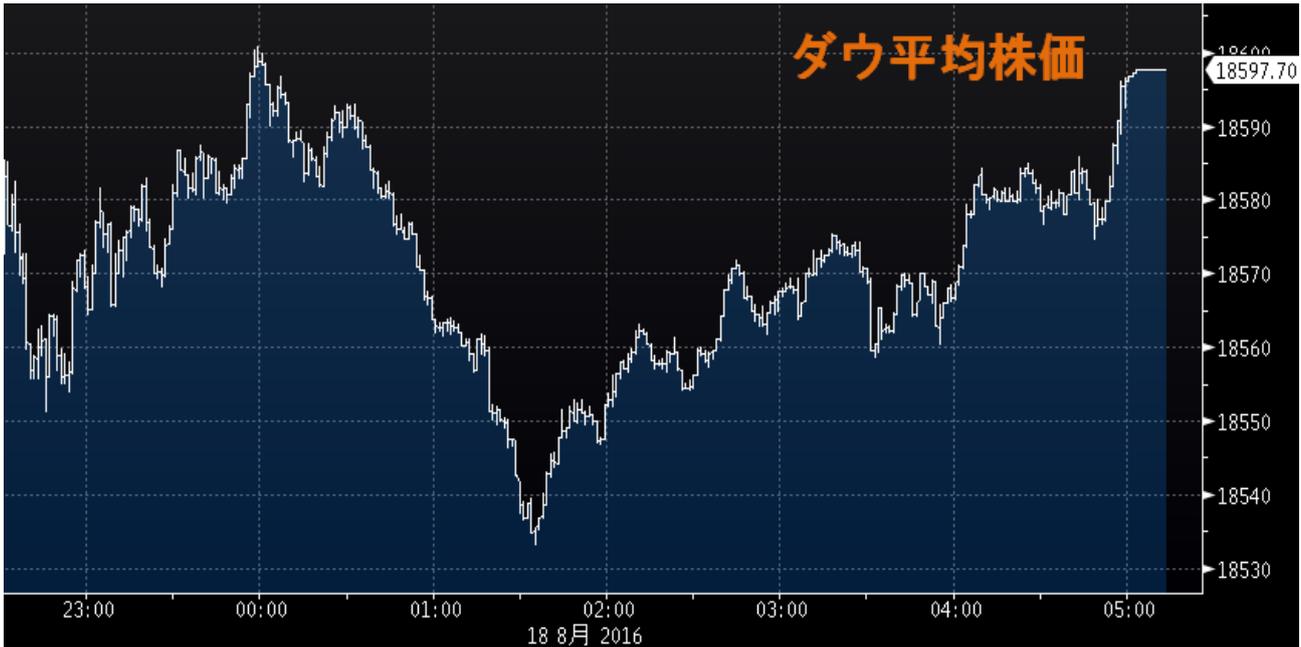
NY 原油は、ドルが主要通貨に対して下落し、ドル建ての原油の割安感から、買いが加速した。前日発表された米原油在庫の減少や、主要産油国による増産凍結協議への期待感も、引き続き相場を支えた。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、ダウやナスダックが最高値圏にあり、利益確定の売りが出る一方、米経済指標の改善から米景気の先行きを期待した買いも入るなど、序盤から売り買いが交錯するもみ合いの展開が続いた。NY ダウ平均株価は、序盤はもみ合いの展開が続いたが、その後下げ幅を拡大する動きとなったが、終盤にプラス圏に戻して引けた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米雇用関連の経済指標が予想より堅調な結果となったことから、序盤からドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。その後は、株価が軟調な動きとなったことや、米国債券利回りが低下したことから、円が買われる動きとなり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。また、米利上げ期待の後退懸念から、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。